

# ゼッケンドルフによる『ドイツ君主国』第三版出版の諸相

川 又 祐

- 一 はじめに
- 二 『ドイツ君主国』第三版の出版
- 三 『ドイツ君主国』第三本文および『補遺』の相違
- 四 おわりに

## 一 はじめに

筆者はかつて、平成二三年度日本大学短期A海外派遣研究員として、「ヨーロッパにおける財政思想の生成と展開」研究のため、平成二三年七月一日から十月一日までオーストリア、フランス、ドイツを訪ねた。この訪問の目的は、一六世紀から一九世紀初頭までヨーロッパとりわけドイツ、オーストリアにおける経済・財政学界を支配した官房学派の人たち、すなわちカメラリストたちの原典、関連資料を収集することを通じて、

ヨーロッパにおいてどのようにカメラリストの思想が伝播、受容されていったのかを明らかにすることにあつた。そのためには、官房学そしてカメラリストの著作がいつ、どのようにして刊行されていったのかその調査が必要であつた。

カメラリストの中で、その前・後期を通じて代表者の一人に数えられるV・L・v・ゼッケンドルフ（一六二六—一六九二）は、その主著『ドイツ君主国』を一六五六年から、一六六〇年、一六六五年、一六七〇年、一六七八年、一六八七年、そしてゼッケンドルフの没後、一六九五年、一七〇〇年、一七〇三年、一七〇一年、一七二〇年、一七三七年、最終一七五四年版まで、各版を数えるに至っている。近年も一九七二年に一七三七年版が、一九七六年に一六六五年第三版がそれぞれ復刻されている。初

版には二種類あることがすでに知られている（川又、二〇〇八）。筆者はこれまでに、一六五六年版、一六六五年版二点、一六七〇年版、一六七八年版、一七三七年版を個人的に入手してきた。そこで本稿ではとりわけ、この第三版を中心に検討する。

ゼッケンドルフは『補遺』の冒頭に「好意的な読者への回想」を置き、第三版出版の経緯を明らかにしている。

およそ九年前、『ドイツ君主国』という前述の論文を、私のきわめて寛大なる主君、ザクセン・ユーリヒ・クレーフェ・ベルクなどなどのエルンスト公の御指示により私が出版した時、私は、宮廷の新任官僚が、他の文書では当該テーマについてあまり多くの事柄を見つけられていないということを考慮して、本書が不便なものにならないようにとの希望を少々抱いたのだが、私は本書に第二版が来ようなどとは考えていなかったのである。というのも、母国〔ドイツ〕語による文献が長い年月を数えることも、あるいは大きな需要を有することもないことを、私は承知していた。その上、本書が一貫して気に入られるものにはならないことも、とりわけて明らかであった。私は最初から気づいていたのである。まさに経験豊かな宮廷の大臣たちで

あれば〔本書を〕必要としたりおもしろがったりすることはないであろう、と。しかしながら、平均的なそして新人の人たちはより多くの情報をこの本、あの本と欲している。何人かは、いくつかの状況・名称において、彼らが置かれている場所が変わっている適応能力を持っていないのである。多くの人は、私が本書を法規則の手本、教訓、引用で飾り付け、多くの見せかけをほどこしていると思込んでいる。少なからずの人たちも、私が教会事項で記述した、そして本書の序言（Vorrede）において保護し解説した諸原理のいくつかを嫌悪するであろう。どんなに考えても、本書のことを、それ以上とくに注意が要らない、いわば支度を終えた子供のようしておくこと以外、考える必要はないであろうと私は推測していた。しかしその後、出版者が、四折版の初版をまもなく完売して、新版に取りかかることを決心した、と私に知らせた時、私は出版者の随意と危険とで行わせた。そこで考えたのは、初版で度重なって犯された誤植が免れ、改訂されること、だけであった。苦労して一冊の手書き修正を〔出版者に〕付けてやったにもかかわらず、〔修正がされないまま〕修正版と称した拙劣な八折本の第二版が、出版者によって出されてしまった。そうした不注意あるいは無分別にひとは驚かない

で欲しい。それゆえ、私は、その本を見るのも、あるいは手に取ることも、そしてそれ以来、私のそばに置くのも嫌になって、それを別の形態に作り替えること、時間が可能であれば、ラテン語でそれらを書き表すことも嫌になった。しかし、何年にもわたって望んできた、業務・職務における自分の責務の軽減が実現されたので、また自分の思いつきや企図を未完のままにしてあったので、ついに、本書第三版、少なくとも誤植を大部分廃棄し、活字と用紙を良くし心地よいものにしていくつもりで、また私自身の費用で、私の住所地で、密かに良い機会にそれを実行する考えがあった。以前の版の出版者が私にいろいろ言い立てたので、結局、新しい結論に動かされ、「増補」によっていくつか資料をこの新版に付け加えることを決心した (Seckendorf, *Additions*, pp.3-6)。…

オーベルンツェン、エルファ、グエンペルダの  
ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ  
ザクセン・ナウムブルク公枢密参議官、カンツラー、  
ツァイツのシュテイフト宗務庁長官、  
ザクセン公のイェナ総合宮廷裁判官、  
などなど (Seckendorf, *Additions*, p.11)

これを読むと、ゼッケンドルフは『ドイツ君主国』第二版の出版を当初は期待していなかったことが分かる。市場の好反響に驚きを隠せずに第二版の刊行を迎えるが、これはゼッケンドルフの意向に反するものであった。初版の出版者トマス・マティアス・ゲッツェ (Thomas Mathias Götz: 1623-1672)<sup>(1)</sup> に対して手書き修正を送って改訂を求めたにもかかわらず、それが反映されなかったからである。ようやく宮廷における重責が軽減されてゼッケンドルフは、『ドイツ君主国』の改訂に取りかかった。最初は、自分の意向を無視したゲッツェ抜きで刊行を計画したらしい。しかし、何らかの事情が働き、ゲッツェも加わることになる。第三版は、本文を全面的に改訂するというのではなく、本文に『補遺(増補)』を追加する二部構成が最終的に採用された<sup>(2)</sup>。そして一六六四年に補遺の執筆が終了して、翌一六六五年に出版されることになったのである。

## 二 『ドイツ君主国』第三版の出版

もともと、『ドイツ君主国』第三版、八折り判はどのような形式で出版されたのであろうか。筆者は第三版原典二点とその複製版一点とを所有しているが、原典二点を筆者本A、筆者本Bとそれぞれ呼ぶことにする。三書は次の通りである。

筆者本A。『補遺』合冊版。背表紙表題“Seckendorf [sic]

Teutscher Fürsten Stat<sup>oo</sup> 田邊館蔵『Bibliothek Bela Markovits』Q<sup>40</sup>°

Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc. Teutscher Fürsten Stat. Nun zum drittemahl übersehen und aufgelegt, Auch mit einer gantz-neuen Zugabe, Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein gorosses Theil vermehret. Mit Churfürstli. Sächsischen Vicariats Privilegio. Franckfurt am Mayn. In Verlegung Thom. Matthiae Götzens. 1665.

[2]. [16]. [1]. 2-51. 51 [ie. 52]. 53-137. 128 [ie. 138]. 139-265. 276 [ie. 266]. 267-269. 271 [ie. 270]. 270 [ie. 271]. 272-370. 3 [ie. 371]. 372-389. 360 [ie. 390]. 391-439. 740 [ie. 440]. 441-512. 5 [ie. 513]. 514-652. 65 [ie. 653]. [654]. 655-878. [Register 29. Extract 4] p. : [1-3]. 4-40. 61 [ie. 41]. 42-70. 73 [ie. 71]. 72-136. 237 [ie. 137]. 138-219. 20 [ie. 220]. 221-237 p.

Signature: π<sup>1</sup>, ρ<sup>(8)</sup>A-Z<sup>8</sup> Aa-Z<sup>8</sup> Aaa-Ill<sup>8</sup>, A-O<sup>8</sup> P<sup>7</sup>

筆者本日。『補題』合冊版。書架表表題 “V. L. von Seckendorff, Teutscher Fürsten Stat<sup>oo</sup>。 田邊 52-49 40 44 45 50”

Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc. Teutscher Fürsten

Stat. Nun zum drittemahl übersehen und aufgelegt, Auch mit einer gantz-neuen Zu-Gabe, Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein gorosses Theil vermehret. Mit Churfürstli. Sächsischen Vicariats Privilegio. Franckfurt am Mayn. In Verlegung Thom. Matthiae Götzens. 1665.

[2]. [16]. [1]. 2-51. 51 [ie. 52]. 53-137. 128 [ie. 138]. 139-265. 276 [ie. 266]. 267-269. 271 [ie. 270]. 270 [ie. 271]. 272-389. 360 [ie. 390]. 391-439. 740 [ie. 440]. 441-479. [480]. 481-652. 65 [ie. 653]. [654]. 655-878. [Register 29. Extract 4] p. : [1-3]. 4-40. 61 [ie. 41]. 42-70. 73-74 [ie. 71-72]. 73-136. 237 [ie. 137]. 138-219. 20 [ie. 220]. 221-237 p.

Signature: π<sup>1</sup>, ρ<sup>(8)</sup>A-Z<sup>8</sup> Aa-Z<sup>8</sup> Aaa-Ill<sup>8</sup>, A-O<sup>8</sup> P<sup>7</sup>

復刻本 (11卷本)

Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc. Teutscher Fürsten Stat. Nun zum drittemahl übersehen und aufgelegt, Auch mit einer gantz-neuen Zu-Gabe, Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein gorosses Theil vermehret. Mit Churfürstli. Sächsischen Vicariats Privilegio.

Franckfurt am Mayn. In  
Verlegung Thom. Mat-  
thiaeGötzens. 1665.  
[2]. [16]. [1]. 2-5. [6].  
7-137. 128 [i.e. 138].  
139-653. [654]. 655-878.  
[Register 29, Extract 4]  
p. [1-3]. 4-237 p.  
Signature: π, ρ<sup>o</sup>, A, Z<sup>o</sup>, Aa-  
Zz<sup>o</sup> Aaa-ll<sup>o</sup>, A-O<sup>o</sup> P<sup>o</sup>

この本の第三版をVD17<sup>(c)</sup>で  
検索すると、現在、ゴータ研究  
図書館蔵本（ゴータ本と略  
称：VD17 39.157216U）、ヴォ  
ルフエンビュッテルのアウトグス  
ト公園図書館蔵本（ヴォルフ  
エンビュッテル本と略称：VD17  
23.305337Z）、ベルリン国立図  
書館蔵本（ベルリン本と略  
称：VD17 1.691363G）の三種

表1-1 「ドイツ君主国」第三版表題頁

①筆者本A	②筆者本B	③ベルリン本（筆者撮影） VD17 1.691363G
④ゴータ本 VD17 39.157216U	⑤ヴォルフエンビュッテル本 VD17 23.305337Z	⑥復刻本

表1-2 『ドイツ君主国』表題頁(和訳)

①筆者本A	②筆者本B ⑥復刻本	③ベルリン本
<p>ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ氏、などなど〔以下省略〕、の『ドイツ君主国』校閲して3度目の刊行まったく新しい補遺付</p> <p>特別のそして重要な資料が全体にわたり増補される</p> <p>ザクセン選帝侯代理人による特認済み</p> <p>フランクフルト・アム・マイントマス・マティアス・ゲッツェによる出版</p>	<p>ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ氏、などなど〔以下省略〕、の『ドイツ君主国』校閲して3度目の刊行まったく新しい補遺付</p> <p>特別のそして重要な資料が全体にわたり増補される</p> <p>ザクセン選帝侯代理人による特認済み</p> <p>フランクフルト・アム・マイントマス・マティアス・ゲッツェによる出版</p>	<p>ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ氏、などなど〔以下省略〕、の『ドイツ君主国』校閲して3度目の刊行まったく新しい補遺付</p> <p>特別のそして重要な資料が全体にわたり増補される</p> <p>ザクセン選帝侯代理人による特認済み</p> <p>フランクフルト、トマス・マティアス・ゲッツェによる出版</p>
1665年	1665年	1665年

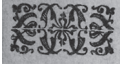


類が紹介されている。

表1-1の画像はすべて『ドイツ君主国』一六六五年第三版の表題頁である。①②は筆者本A、Bで、③はベルリン本である。そして④がゴータ本、⑤がヴォルフエンビュッテル本である。⑥はやはり筆者が所有する復刻本である。画像から、①筆者本Aと④ゴータ本が、②筆者本Bと⑤ヴォルフエンビュッテル本そして⑥復刻本が同一のものだと分かる。よって①筆者本A、②筆者本B、③ベルリン本の表題頁を見てもよい。

表1-2はこれら三冊の表題頁を訳出したものである。表題頁は、著者名、表題、版数、補遺、特認、オーナメント、出版地、出版者、刊行年から構成されている。著者名は「ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ氏、などなど〔以下省略〕」の(Herrn Vait Ludwigs von Seckendorff. z[et]c.)と記されている。『ドイツ君主国』初版や第二版では、「ゼッケンドルフの身分や出身地を表題頁に記載していたが、第三版ではこれらが省略されているために、zc (=etc.)という省略記号が用いられたものと思われる。しかしながら、『補遺』ではゼッケンドルフの身分の記載が復活している(Seckendorff, *Additions*, p.11.)。

三冊をみると、八か所に違いがあることが分かる(表2参照)。すなわち(1)著者、(2)表題、(3)版数、(4)補遺、(5)オーナメ

表2 『ドイツ君主国』第三版表題頁の相違

	①筆者本A	②筆者本B ⑥復刻本	③ベルリン本
(1)著者	Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc.	Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc.	Herrn Veit Ludwigs von Seckendorff, zc.
(2)表題	Teutscher Fürsten Stat 2行表記 ハイフンなし	Teutscher Fürsten Stat 2行表記 ハイフンなし	Teutscher Fürsten-Stat 1行表記 ハイフンあり
(3)版数	Nun zum drittenmahl übersehen und aufgelegt, übersehen で改行	Nun zum drittenmahl übersehen und aufgelegt, übersehen で改行	Nun zum drittenmahl übersehen und aufgelegt, und で改行
(4)補遺・増補	Auch mit einer gantz-neuen ZuGabe,  Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein grosses Theil vermehret. 5行表記 ZuGabe ハイフンなし ZuGabe の行と Sonderbarer 以下 との行間に空きあり	Auch mit einer gantz-neuen  Zu-Gabe,  Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein grosses Theil vermehret. 5行表記 Zu-Gabe ハイフンあり Zu-Gabe の前後の行間に空きあり	Auch mit einer gantz-neuen Zu-Gabe,  Sonderbarer und wichtiger Materien umb ein grosses Theil vermehret. 4行表記 Zu-Gabe ハイフンあり Zu-Gabe の行と Sonderbarer 以下との行間に 空きあり
(5)オーナメント (飾り模様)	 1段組み	 1段組み	 2段組み
(6)出版地	Franckfurt am Mayn,	Franckfurt am Mayn,	Franckfurt, In Verlegung Thomae Matthiae Götzens.
(7)出版者	In Verlegung Thom. Matthiae Götzens.	In Verlegung Thom. Matthiae Götzens.	アム・マインなし、ゲッツェの名前 が2行
(8)刊行年	M. DC. LXV.	M. DC. LXV.	M. DC. LXV.

ゼッケンドルフによる『ドイツ君主国』第三版出版の諸相(川又)

ント(飾り模様)、(6)出版地、(7)出版者、(8)横線の表  
記である。

(1)著者

著者の表記やそれ以外でも同様であるが、用いられ  
ている活字がベルリン本だけ異なっている。

(2)表題

筆者本A、Bは表題(書名)の表記が二行であるの  
に対して、ベルリン本は一行である。しかもベルリン  
本にだけ、「Fürsten 7c Stat」の間にハイフンが付けられ  
ている。

(3)版数

ベルリン本のみ、und で改行されている。

(4)補遺

補遺の表記が、筆者本Aはハイフンなしの ZuGabe  
であるのに対して、筆者本Bとベルリン本は Zu  
7c Gabe の間にハイフンが入っている(Zu-Gabe)。補遺  
の前身すなわち増補の説明「特別のそして重要な資料  
が全体にわたり増補される」に関して、ベルリン本は、  
筆者本二冊が三行で表記されているのとは異なり、  
Bで改行されているために全部で二行となっている。

(5)オーナメント(飾り模様)



ベルリン本だけ、飾り模様（植物の葉のごとき模様）が二段に表現されている。

(6) 出版地

筆者本二冊は「フランクフルト・アム・マイン」と正確に表記されているのに対して、ベルリン本は単に「フランクフルト」とされている。

(7) 出版者

本書はトマス・マティアス・ゲッツェ (Thomas Matthias Götz) によって出版されたが、彼の姓名ラテン語二格表記に関して筆者本二冊が Thom. であるのに対して、ベルリン本は Thomae となっている。

(8) 横線

刊行年のすぐ上にある横線であるが、筆者本二冊がその一行上の H から Götzens までの幅よりも狭く引かれているのに対して、ベルリン本は二行上の Frankfurt から Thomae までの幅よりも広く引かれている。

さらに、表3の画像のように、筆者本Aでは、口絵頁と表題頁が左右の頁で連続している（見開き）が、筆者本Bおよびベルリン本では口絵頁と表題頁

表3 『ドイツ君主国』第三版口絵頁と表題頁



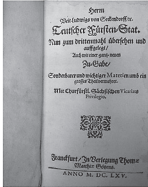
①筆者本A	②筆者本B	③ベルリン本
		

表4-1 『ドイツ君主国』第三版『補遺』表題頁と第四版『補遺』表題頁

①筆者本A	②筆者本B	第四版
		



表4-2 『ドイツ君主国』第三版『補遺』の出版地と出版者

	『ドイツ君主国』 第三版本文	『補遺』	
出版地	フランクフルト・アム・ マイン	フランクフルト	ゴータ
出版・ 印刷者	トマス・マテイアス・ ゲッツェ	トマス・マテイアス・ ゲッツェ	アンドレアス・ライヘア ヨハン・ミハエル・シャル

が連続していない<sup>4)</sup>。後二者は、口絵の裏頁が空白になっているのである。

次に、表4-1の画像は、『ドイツ君主国』一六六五年第三版『補遺』の表題頁、および筆者所蔵、一六七〇年刊の第四版のそれである。

表4-1から第三版『補遺』の出版地と出版者を示したものが表4-2である。この表から、この第

三版『補遺』の刊行には、ゴータのアンドレアス・ライヘア (Andreas Reyher: 1601-1673) とヨハン・ミハエル・シャル (Johann Michael Schall) が新たに関わっていることが分かる。ライヘアは、ゼッケンドルフがゴータのギムナジウムに在学中、その校長を務めた有名な教育者(校長在職は一六四一年から没する七三年まで)であった (Berbig, pp.322-23, p.325)。ライヘアは、出版業にも携わった人物

であり、ゴータにおいてはエルンスト敬虔公から出版の特認 (Privileg) を与えられている。彼の下でペーター・シュミット (Peter Schmid) とシャルが印刷工として従事していた (Berbig, p.325)。表4-1から、一六七〇年第四版の刊行に際しては、本文あるいは『補遺』の表題頁にライヘアとシャルの名前は登場していない。以後二人の関与はなくなったようである。ゲッツェおよびその後継者は『ドイツ君主国』の一六七八年第五版までその刊行を担当している。

### 三 『ドイツ君主国』第三版本文および『補遺』の相違

上で見てきたように、筆者本A、B、復刻本、ベルリン本、ゴータ本、ヴォルフエンビュッテル本における違いは何を意味するのであろうか。彼らの相違を明らかにするためには、さらなる比較が必要である。残念ながら筆者は、ドイツと日本という地理的な距離もあり、これらの本の詳細な比較が実現できない。しかしながら、東京大学総合図書館が『補遺』を所蔵している(東大本と略称)。また、ドイツへの電子メールでの照会が可能であったことよって、部分的ではあるが、筆者本A、B、復刻本、ヴォルフエンビュッテル本、ベルリン本そして東大本の比較が実現した。ヴォルフエンビュッテルからはクリステイアン・ホークレーフェ (Christian Hogrefe) 氏から、

表5 『ドイツ君主国』第三版の相違

	①筆者本A	②筆者本B	⑤ザルツマンとエツテル本	⑥復刻本(二巻本)	③ペルリン本	東大本(補遺のみ)
p104 頭注3	Rathe	Rathe	Rathe (hあり)	Rathe (印刷のかすれか hなし)		
p108 頭注5	Zum Z が巻いた字体 <b>z</b>	um (印刷のかすれか Zなし)	Zが筆者本Aと同じ字体の <b>z</b>	Zum		
p129 折記号	Jあり	Jあり	Jあり	Jなし		
p271	270頁を271頁と誤植	270頁を271頁と誤植	270頁を271頁と誤植	誤植なし	270頁を271頁と誤植	
p270	271頁を270頁と誤植	271頁を270頁と誤植	271頁を270頁と誤植	誤植なし	271頁を270頁と誤植	
p3	371頁を3頁と誤植	誤植なし	371頁を3頁と誤植	誤植なし	誤植なし	
p386 キョツチワート	CAP. (E)	CAP. (E)	CAP. (E)	Sam. (誤)		
p390	390頁を360頁と誤植	390頁を360頁と誤植	390頁を360頁と誤植	誤植なし	390頁を360頁と誤植	
p440	440頁を740頁と誤植	440頁を740頁と誤植	440頁を740頁と誤植	誤植なし	440頁を740頁と誤植	
p5	513頁を5頁と誤植 (印刷のかすれか)	誤植なし (かすれなし p.513)	誤植なし (かすれなし p.513)	誤植なし (かすれなし p.513)	誤植なし (かすれなし p.513)	
p551 キョツチワート	genあり	genあり	genあり	なし		
p65	653頁を65頁と誤植	653頁を65頁と誤植	Ha. (aあり)	誤植なし		
p773と本	Hのみ (aなし)	Ha. (aあり)	Ha. (aあり)	Ha. (aあり)	Ha. (aあり)	
p773 キョツチワート	ferなし	ferあり	ferあり	ferあり	ferあり	
p41	41頁を61頁と誤植	41頁を61頁と誤植	41頁を61頁と誤植	誤植なし	41頁を61頁と誤植	41頁を61頁と誤植
p33 見出し	\$43 (かすれて43に見えろ)	\$13	\$13	\$1 (印刷のかすれか 3なし)		\$13
p71	71頁を73頁と誤植	71頁を73頁と誤植	71頁を73頁と誤植	誤植なし	71頁を73頁と誤植	
p72	72頁を74頁と誤植	72頁を74頁と誤植	72頁を74頁と誤植	誤植なし		
p111 キョツチワート	nicht	nicht	nicht	nich- (印刷のかすれかなし)		nicht
p126	\$33. 見出しなし	\$33. 見出しなし	\$33. 見出しなし	\$33. 見出しなし		\$33. 見出しなし
p137	137頁を237頁と誤植	137頁を237頁と誤植	137頁を237頁と誤植	誤植なし	137頁を237頁と誤植	
p182 見出し	\$42. を\$41. と誤植	\$42. を\$41. と誤植	\$42. を\$41. と誤植	\$42. を\$41. と誤植		\$42. を\$41. と誤植
p206 頭注	\$43.	3のみ (印刷のかすれか \$記号と4なし)	\$43.	3のみ (印刷のかすれか \$記号と4なし)		3のみ (印刷のかすれか \$記号と4なし)
p20	220頁を20頁と誤植	220頁を20頁と誤植	220頁を20頁と誤植	誤植なし	220頁を20頁と誤植	
p235	34. を54. と誤植	34. を54. と誤植	34. を54. と誤植	34. を54. と誤植	34. を54. と誤植	34. を54. と誤植
紙	薄紙	薄紙	薄紙	薄紙	薄紙	厚紙

補遺(増)

ベルリンからはエファ・ロートキルヒ (Eva Rothkirch) 女史から回答メールをいただくことができた。これらの回答を基にして、本文や補遺に関する両者の相違を表5にまとめた(表中の斜線部はメールでの回答がなかった部分を、空欄は比較ができなかった部分を表す)。

この比較の結果、そして二『ドイツ君主国』第三版の出版で示した書誌(折記号)などから、筆者本A、B、ヴォルフエンビュッテル本、ベルリン本、そして東大本は、表題頁は変更されてはいるが、同じ組版を用いて印刷されたものと考えてよいであろう。印刷の際、ページ番号表記など都合があれば訂正を施した結果が、その差となって表れたと思われる。『ドイツ君主国』は三種類の表題頁を持つのだが、これら三種類の『ドイツ君主国』の公刊順を特定するのは困難である。筆者本AとBでは、ZuGabeと直されていることから、Bの方が遅いということは言える。しかし、ベルリン本は、筆者本Aの前に印刷されていて、その後表題頁を替えて筆者本Aが印刷された可能性と、あるいは筆者本Bの後に、やはり表題頁を替えて、ベルリン本が印刷された可能性の二つがあるのである。(あるいは、筆者本A、Bの中間に公刊された可能性もなくはない)。

しかしながら、筆者本Aなどにあつたいくつかの誤植が復刻本ではそれが直されていることに注目しなければならぬ。三

八六頁のキャッチワード (Catchword) に関しては、筆者本においては正しい表記CAPであったのに、印刷の過程において何らかの手違いで、復刻本において、誤った

Summeに直されてしまったのである。同様に、筆者本にはあつたものが、復刻本にないものも存在している。たとえば、一二九頁の折記号J、五五一頁のキャッチワード Bandがそれに該当する。両者の相違は、印刷のかすれによる影響も考えなければならぬものの、復刻本のページ表記は、筆者本Bとは明らかに異なっているので、復刻本の原典は、筆者本Bよりも後に印刷された可能性が高い(図1)。

では『補遺』にも違いがあるのであるのか。各版の相違はやはり表5に示されている。『補遺』復刻本ではやはり、ページ番号の誤植が直さ

図1 『ドイツ君主国』第三版公刊順の可能性

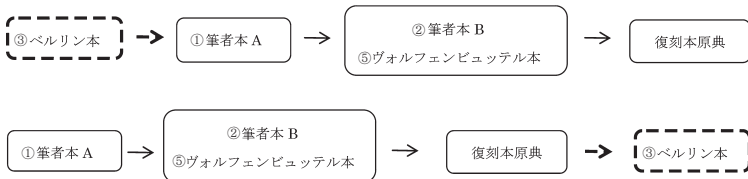
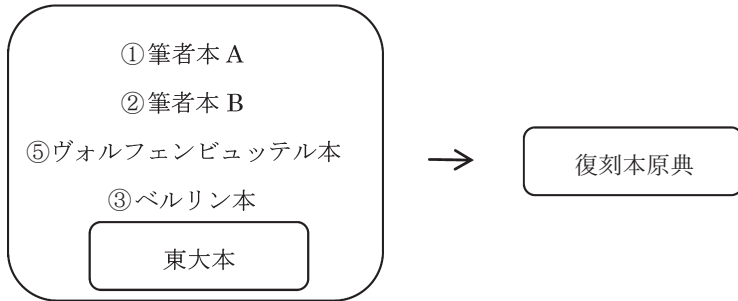


図2 『補遺』 公刊順の可能性



れている。「補遺」の印刷もまた、復刻本原典の公刊順は最後とあってよいであろう。ところで、筆者本と東大本に関して、印刷された用紙が筆者本は東大本に比較して薄手のものが用いられているという事実がある。用紙の違いから両者の間には明らかに、印刷上の時間的差異、あるいは場所的差異があったと思われる。

#### 四 おわりに

今回明らかにできたのは、  
① 『ドイツ君主国』  
第三版には少なくとも

も三つの異なる表題頁を持つ版が存在している。  
② 東大本の印刷用紙は、筆者本と異なっている。<sup>(7)</sup>  
の二点である。

初版以降の刊行総部数は分かっていないが、初版一六五六年から最終一七五四年版まで、数々の版が数えられたことは、それだけヨーロッパにおいて『ドイツ君主国』に対する需要が大きかったことを表している。最終的に各版の刊行総部数は膨大なものになるであろう。一七二七年にS・P・ガッサー（一六七六—一七四五）がハレ大学において官房学講座を担当する教員に就任した際、その当初『ドイツ君主国』<sup>(8)</sup>を用いて授業を行っていたことが知られている（Gasser, Vorbericht, p.1）。そのことは、一七二七年当時でも流通量が大きく、『ドイツ君主国』が入手し易かったことの証左となろう。いずれにしても、初版から最終ビーヒリンク版までを照合することによって、『ドイツ君主国』出版の歴史が明らかにされる。初版から最終ビーヒリンク版まで全体の照合は、今後の課題として残されている。

最後に、ゼッケンドルフの『ドイツ君主国』第三版について説明されていない疑問点について整理してみよう。

① なぜ、第三版にライヘアヤシャルが関わるようになったのか。彼らとゲッツェとの役割分担はどのようなものであった

のか。

② なぜ『補遺』出版地として、本文の出版地と敢えて違うフランクフルトとゴータの二か所が記載されているのか。

③ 本文の表題頁にライヘアらの名前がないのはなぜか。

④ 本文はフランクフルトで、『補遺』はフランクフルトとゴータでそれぞれ別々に印刷されたのか。ゲッツェが本文と補遺を印刷する一方、ライヘアは、本文は印刷せず、補遺だけを印刷したのか。

⑤ 復刻本は、何を原典にして復刻されたのか。

復刻本は、デトレフ・アウヴェルマンKG出版社 (Verlag Detlev Auvernann KG) から刊行され、トポス (Topos) 社から販売された。紀伊國屋書店に照会したところ、アウヴェルマン社は、現在、営業をしておらず、閉業している可能性が高いとのことであった<sup>(9)</sup>。トポスにもこの第三版の原典の情報(所蔵先あるいは所有者)について電子メールで照会中であるが、返答はまだ得られていない。

(一) ゲッツェは、ライプツィヒに生まれた。三十年戦争の影響で、父からフランクフルトへ送り出される。このフランクフルトで彼は結婚後、出版業を開業した。当時、ライプツィヒはスウェーデンに占領されていたため、フランクフルトがドイツにおける出版業の中心地としての地位を得ていた。ゲッツェはこの地で大成功を収める

も、一六七二年、四九歳で亡くなる。彼の周りには、きわめて有能な従業員であり娘婿ヨハン・フリッツェ (Johann Fritzsche)、ゲオルク・ハインリヒ・エアリンク (Georg Heinrich Ohring)、ヨハン・フリードリヒ・グレディッチュ (Johann Friedrich Gleditsch)、息子トマス・ミハエル・ゲッツェ (Thomas Michael) らがいた。ゲッツェの後継者トマス・ミハエルは、拠点をその後ライプツィヒに移していく (Brauer: 592)。

ゼッケンドルフの『ドイツ君主国』の出版にゲッツェおよびその後継者が関わったのは一六七八年第五版までである。またゼッケンドルフの『キリスト教徒国』(一六八五年)の出版は、ライプツィヒでヨハン・フリードリヒ・グレディッチュが担当している。

(二) ゼッケンドルフは「索引 (Register)」の後で、『補遺』第三六節との関連から、フランス語論文『格言集』を紹介している (Joy, p. 209 ff.)。この紹介は、少なくとも一七一一年版には掲載されているものの、ビーヒリンクによって編纂された一七二〇年版以降では削除されている。

(三) プロジェクトVD17は、一六〇一年から一七〇〇年までの一七世紀にドイツ語圏で公刊された文献目録を作成する事業である。  
<http://www.vd17.de/>

(四) ヌータ本 (VD17 39157216U) において、口絵頁と表題頁が連続しているかどうかは未確認である。口絵頁の綴じ方は、製本の発注者あるいは製本業者の好みで決まってくるのであろう。

(五) VD17<sup>10</sup> Andreas Reyher, Johann Michael Schall, Virus Seckendorfで検索すると十六件の文献が見つかる (二〇一六年一月現在)。ゼッケンドルフは『補遺』の公刊前に二人と出版実績があったようである。なお、J. Benzing, *Die Buchdrucker* の一六二頁、

および四〇九頁以下にヨハン・シハエル・シャルの記載があるというが、著者は未見。

- (6) 復刻に際して、ページ数表記が訂正されている可能性もある。『ドイツ君主国』の一七三七年復刻版では原典にないにもかかわらず、Vorredeにローマ数字でページ数が記されている。
- (7) 印刷用紙の相違を明らかにするには、ウォーターマーク (watermark 透かし模様) などを各版で明らかに検証する必要がある。
- (8) ガッサーが使用したのは、一七二〇年版であろう。
- (9) 同名の古書籍商がロンドンに存在するが、両者の関係は不明である。

#### 参考文献

- 川又祐 (2008) : 「セツケンドルフと『ドイツ君主国』」、『日本大学法學部創設二一〇周年記念論文集』第二巻、二〇〇八年、二四九—二七一頁。
- Benzing, J. (1963): *Die Buchdrucker des 16. und 17. Jahrhunderts im deutschen Sprachgebiet* Wiesbaden, 1963.
- Berbig, M. (1907): "Keyher, Andreas", in: *Allgemeine Deutsche Biographie*, Bd. 53, 1907, pp.322-325.
- [Onlinefassung]: URL: <http://www.deutsche-biographie.de/pnd119123053.html>
- Brauer, A. J. (1964): "Goetze, Thomas Matthias", in: *Neue Deutsche Biographie*, Bd. 6, 1964, p.592.
- [Onlinefassung]: URL: <http://www.deutsche-biographie.de/pnd133416305.html>
- Gasser, S. P. (1729): *Einführung zu den Oeconomischen Politischen*

*und Cameral-Wissenschaften* ... Halle, 1729, Neudruck, Verlag Delev Auvermann KG, Glashütten im Taunus, 1970.

- Joly, C. (1663): *Recueil de maxims veritables et importantes pour l'institution du Roy*, Paris, 1663. 本書は二〇一五年一〇月現在 Google books で閲覧可能。
- Seckendorff, V. L. v. (1656): *Teutscher Fürsten Stat*, Franckfurt am Mayn, 1656, 初版。
- Seckendorff, V. L. v. (1656): *Teutscher Fürsten Stat*, Nun zum dritten Mal übersehen und aufgelegt, Auch mit einer gantz-neuen Zugabe, Franckfurt am Main, 1665, 第三版。
- 筆者本 A、B
- ウォルフエンビュッテルアーウグスト公図書館所蔵本: VD17 23305337Z
- ベルリン国立図書館所蔵本: VD17 1691363G
- トータ研究図書館所蔵本: VD17 39.157216U

- Seckendorff, V. L. v. (1665): *Additiones Oder Zugaben und Erläuterungen zu dem Tractat des Teutschen Fürsten Stat*, Durch den Autoren selbst, bey dieser neuen Edition, aus Liebe des gemeinen Bestens, abgefasset, Anno 1664, Franckfurt, Gotha, 1665, 『雜覽』
- Seckendorff, V. L. v. (1656): *Teutscher Fürsten Stat*, Nun zum dritten Mal übersehen und aufgelegt, Auch mit einer gantz-neuen Zugabe, Nachdr. der Ausg., 1665 (Pädagogica: Quellen Schriften zur Geschichte der Einheitsschule, Bd. 2), 2 Bde, Verlag Delev Auvermann, Glashütten im Taunus, 1976. 本題は「復刻本」に誤記。(復刻本は二巻本)
- Seckendorff, V. L. v. (1656): *Teutscher Fürsten Stat*, Nun zum vierden-

*mahl übersehen und aufgeleget. Auch mit einer ganz-neuen Zucht.*  
 Gabe. Franckfurt am Mayn. 1670.  
 Seckendorf. V. L. v. (1656) : *Teutscher Fürsten-Staat* ... Durch Hn.  
 Andres Simson von Bieching. Die neuseite Auflage. Jena. 1737.  
 Neudruck. *DeutscherFürstenstaat*. Scientia Verlag Aalen. 1972

※『ドイツ君主国』は2016年1月現在、次の各版がウェブで閲覧可能である。

1656年版	<a href="http://books.google.co.jp/books?id=AnZKAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false">http://books.google.co.jp/books?id=AnZKAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false</a>
1660年版	<a href="https://books.google.co.jp/books?id=IU9GAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ViewAPI&amp;redir_esc=y#v=onepage&amp;q&amp;f=false">https://books.google.co.jp/books?id=IU9GAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ViewAPI&amp;redir_esc=y#v=onepage&amp;q&amp;f=false</a>
1665年版	<a href="http://digital.bibliothek.uni-halle.de/id/1295953">http://digital.bibliothek.uni-halle.de/id/1295953</a>
1678年版	<a href="http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=njp.32101036895330;view=1up;seq=6">http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=njp.32101036895330;view=1up;seq=6</a>
1687年版	<a href="http://books.google.co.jp/books?id=00cAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false">http://books.google.co.jp/books?id=00cAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false</a>
1703年版	<a href="http://reader.digitale-sammlungen.de/resolve/display/bsb10017296.html">http://reader.digitale-sammlungen.de/resolve/display/bsb10017296.html</a>
1711年版	<a href="https://books.google.co.jp/books?id=uxBaAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ViewAPI&amp;redir_esc=y#v=onepage&amp;q&amp;f=false">https://books.google.co.jp/books?id=uxBaAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ViewAPI&amp;redir_esc=y#v=onepage&amp;q&amp;f=false</a>
1720年版	<a href="http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=mdp.39015062340412;view=1up;seq=7">http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=mdp.39015062340412;view=1up;seq=7</a>
1737年版	<a href="http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=osu.32435057789315;view=1up;seq=10">http://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=osu.32435057789315;view=1up;seq=10</a>
	<a href="http://reader.digitale-sammlungen.de/resolve/display/bsb10017297.html">http://reader.digitale-sammlungen.de/resolve/display/bsb10017297.html</a>
1754年版	<a href="http://books.google.co.jp/books?id=3qNGAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false">http://books.google.co.jp/books?id=3qNGAAAaAAJ&amp;printsec=frontcover&amp;hl=ja&amp;source=gbs_ge_summary_r&amp;cad=0#v=onepage&amp;q&amp;f=false</a>



## Summary

Veit Ludwig von Seckendorff's *Teutscher Fürsten Stat*  
(the 3<sup>rd</sup> edition, 1665).

Prof. Hiroshi KAWAMATA

Nihon University College of Law

Seckendorff's *Teutscher Fürsten Stat* is published in 1656, 1660, 1665, 1670, 1678, 1687, 1695, 1700, 1703, 1711, 1720, 1737, and 1754. I have two *Teutschen Fürsten Stat* (the 3<sup>rd</sup> edition, 1665). Staatsbibliothek zu Berlin houses another one (the 3<sup>rd</sup> edition, 1665). There are 3 different titles pages in them. They can be distinguished by 'ZuGabe', 'ZurGabe' and the ornament on the each title page.

The Tokyo University Library houses Seckendorff's *Zugabe*. This printed papers are also different from that of my two *Zugabe*. The former is thick, and the latter of mine is thin.